

No. 1657

# PKO法案成立

——衆議院——

6月12日自衛隊の海外派遣を盛り込んだ国連平和維持活動(PKO)協力法案が衆議院本会議に上程されました。しかしこの法案に反対する社会党・社民連などは中西議院運営委員長解任決議案を提出し、牛歩で対抗したものの逆に自民党から宮沢内閣信任動議などを出され、最後の手段として社会・社民連141人の辞職願いを議長に提出、国会解散、総選挙を訴えました。

6月15日夕刻、辞職願いは議長預かりのまま、社会党・社民連の欠席の中本会議が開かれ、林委員長のPKO法案の報告に対して共産・自公民の質疑・討論の後、記名投票が行われました。

桜内議長の投票結果報告

「賛成329、反対17で国連平和維持活動協力は委員長報告の通り可決致しました。」

PKO協力が可決されたとはいえ自衛隊の海外派遣に対して国民の賛否は半ばしており慎重な取り扱いが求められています。

# 五輪めざして

——全日本陸上——

7月25日から開かれる、バルセロナオリンピック選考を兼ねた日本陸上選手権大会が6月12日から国立競技場で行われました。

男子走り幅跳びでは5月にオリンピック入賞圏内の8メートル25をマークしている日大の森長が5回目に8メートルを跳び優勝。五輪代表を確実にしました。

男子400メートルは去年の世界陸上で活躍が認められ、既に代表選手に決定している高野が出場。高野は早大の渡辺に追い込まれたものの僅差で勝ち貫祿を示しました。タイムも標準記録を超え、調整は順調の様です。

標準記録を21人が突破している女子1万メートル。レースの中心は5月3日兵庫で、昨年世界9位に当たる31分40秒38の日本新を出したワコールの真木選手。

5000メートル過ぎから独走体勢。結局3分23秒95で初優勝。2・3位に入ったリクルートの五十嵐・鈴木選手と共に代表に選ばれました。

バルセロナで日本選手の活躍を期待したいものです。